

今回の地震の特徴

地震による 87%

脆弱性による 13%

地震

脆弱性



結果

金銭的余裕のある人々は、自分の家を建て直すことができていた。地震以前には、多くの人々はパキスタン国内や海外の異なる地域で働いていたが、地震の後、人々は家に戻り現在は無職になったため収入がない。そういった人々や低所得者は、政府の分割による補償によって住宅を再建させようとしている。彼らが住宅再建を終わらせることができない理由について、以下に述べる。

- 資金不足が、彼らが住宅再建を終わらせることができない一つの理由になっており、未だに作業を開始できないところや、再建はしたものの脆弱なものを造る人々がいる
- 建設資材の価格が、地震後に上昇している
- 政府の被災者に対する補償金供与の遅れも理由の一つに挙げられる

県 (district) など地方政府の建物再建

2005年10月の地震では、政府のの建物は大きなダメージを受け、全ての機関（教育、健康及び行政運営など）への被害は甚大であった。地震後、各行政機関はテントや仮設の建物で仕事を開始したが、22ヶ月が経過しても、政府の仕事は仮設の建物やテントで行われていた。数週間前、パキスタンのラホール大学でバーグの復興マスタープランが紹介された。それは、再建がすぐに開始することを予期させるものだった。



District
Administration



Local Govt.



School

また、田舎ではいくつかの NGO が学校の再建を始めている。



問題とニーズ

以下に我々が調査を通じて見つけた、いくつかの共通の問題とニーズをあげる。

➤ 問題

- 住宅再建
- 水不足
- 失業
- 道路の荒廃
- 未熟な住民組織
- 適切な計画の欠乏

➤ ニーズ

- 復興資金
- 水供給計画
- 基本的なインフラ建設
- 地元産業の促進
- 復興と将来の災害に備えた適切な計画

まとめ

2005年10月の地震後、復興が早急に行われなかった理由は多くある。

- 政府建物の再建に関しては、バーグ再建のマスタープランがラホール大学で紹介され、復興が開始されようとしている。
- 人々の住宅再建に関しては、ほとんどの人々は政府からの補償に期待している。政府は人々に補償金を分割の方法でゆっくり与え、住民の住宅再建は政府の補償金に頼っている。
- 他に挙げられる問題は、地震後特に建築資材の価格が上昇することで、適切に価格をコントロールするシステムがない。